

1 単元名 2つのせつめいのちがいをくらべて、お気に入りのこうえんをしょうかいしよう

中核教材 ふろしきは、どんなぬの

2 学級 2年 男子3名 女子5名 計8名

3 単元について

〈本単元で取り上げる指導事項〉

C 読むこと イ 「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」

〈教材の特徴〉

中核教材は、ふろしきについての説明が「カードに書かれた文章」と「本にのっている文章」の2つの文章で構成されている。「カードに書かれた文章」では、3項目からなる箇条書きの文章である。また、その文章が置かれている場もデパートのふろしき売り場である。一方、「本にのっている文章」は、「はじめ」「なか」「おわり」で構成された文章で、ふろしきについて詳しく説明がなされている。この2つの文章の同じところや違うところを比べることを通して、場面や用途により説明の仕方が違うことや表現方法が違うこと、2つの文章の良さにも気づきやすい教材である。

〈本単元に関わる子どもの実態〉

- ・1年の「いろいろなふね」では、それぞれの船の役目を構造や装備と関連づけながら読み比べた。
- ・「まよい犬をさがそう」では、大事なことを落とさずに聞き、短い言葉でメモをとることができた。その際に、箇条書きを使いメモをとることができた。
- ・保育所園児に向けて学習機の説明を書いたときは、5名の児童が、箇条書きの形式を使い説明した。残り3名は、長い文章にまとめて詳しく説明した。
- ・自分の思いや経験したことについては詳しく書くことができる児童が多い。しかし、内容を短く簡潔にまとめて書いた経験は少ない。

〈身に付けたい力〉

単元を通じた能力

- ・場所や用途に応じた説明の仕方や表現方法があることが分かる。

習得と活用

- ・2つの説明文を比べて、説明の仕方や表現方法の違いがあることを理解する。
- ・場所や用途に応じた説明の仕方や表現方法があることに目を向けて文章を読む。
- ・場所や用途に応じた説明の仕方や表現方法を生かして書く。

〈単元を貫く言語活動とその特徴〉

本単元を貫く言語活動として、「3地域の公園の違いや良さをおすすめカード(箇条書き)にまとめたり、家族に紹介文を書いたりする」ことを位置づけた。カードは教室に掲示する。紹介文は家に持ち帰る。限られた時間や場所で説明する際に、相手に大事なことを正確に伝えるためには、短い言葉で簡潔に説明する必要があり、箇条書きが適している。視覚的にも捉えやすい。詳しく書いた紹介文は相手により多くの情報を伝えることができる。この言語活動のために、教材文の2つの説明を読み比べ、場所や用途に応じた説明の仕方や表現方法があるということをつかえる。これは本単元でねらう「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」(Cイ)の実現につながる。

〈本単元の授業づくりにあたって〉

本単元の導入にあたって、保育所の園児に向けて、学校机を説明する文章を書かせる。その際に、相手を意識して説明文を書く意欲を高めるとともに、児童一人一人がどのように説明するか実態を把握する。そして、2つの説明を読み比べ、カードに書かれている文章と本に書かれている文章の違いや同じところを見つけ、「同じふろしきのことが書かれている文章でもなぜ違いがあるのか」を考えさせることで、2つの文章の良さ(意味や効果)に気づかせたい。3地域の公園の違いや良さをまとめる活動の中で、掲示を目的にする時と家で読んでもらう時の2つの場を設定し、用途に応じた説明の仕方や表現方法を考える必要感を持たせて習得したことを活用させ、汎用を図りたい。

〈本単元の目標と評価規準〉

○文章の説明の仕方や表現方法の違いに気づいて読む。[Cイ]			
○公園の違いや良さをおすすめカード(箇条書き)と紹介文にまとめる。[Bイ]			
国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
身近な物を説明する文章を読み、自分でも文章を書こうとしている。	公園の違いや良さについて、箇条書きと紹介文の2つの形式を生かしてまとめている。[Bイ]	2つの説明の仕方の違いを考えながら比べて読み、場所や用途に応じた説明の仕方や表現方法があることに気づいている。[Cイ]	文章の説明の仕方や表現方法の違いについて知る。

〈子どもへの支援のポイント〉

焦点化(シンプル)	視覚化(ビジュアル)	共有化(シェア)
○学習計画表を作成し、単元全体の流れや各時間のめあてを明確にする。 ○違うところや同じ言葉に着目して、課題解決の手がかりにする。	○中核教材の本文が比較しやすいように、コピーしたものを児童に配布したり、拡大して提示したりする。 ○同じところや違うところを色分けしてまとめる。	○ふろしきについて、実物を用意し、どんなぬのかを確認する。 ○学習過程を学級に掲示していき、いつでも振り返られるようにする。

#### 4 単元構想(全8時間)

次	主な学習活動	評価規準[ ]
一	① 学習機についての説明を書き、一人一人の説明の良さを話し合う。	・学習機について説明する文章を進んで書こうとしている。 [関](ノート・行動観察)
二	② 学習計画を立てる。学習のねらいを確かめ、見通しを持つ。	・学習のめあてを、言語活動の見通しを持っている。[関](行動観察)
	③ 読み比べる2つの文章の内容を捉えて読む。	・語のまとまりに気を付けて、2つの文章を音読している。 [読](音読・行動観察)
	④ 2つの文章を読み比べ、違うところと違う書き方をしている理由を考える。(本時)	・2つの文章の違いを捉え、説明の仕方が違う理由に気づいている。 [読](ノート・行動観察)
	⑤ 2つの文章の同じことが書かれているところを考える。	・2つの文章の同じところを捉え、線を引いている。 [読](ノート・発言)
	⑥ 2つの文章の良さ(意味や効果)について考える。	・2つの文章の良さを捉えている。 [読](ノート・行動観察)
三	⑦ 地域の公園についての違いや良さを考えて、おすすめカード(簡条書き)にまとめる。	・公園の違いや良さを簡条書きにまとめている。 [書](カード)
	⑧ 家族のために公園の紹介文を書く。	・公園の違いや良さを文章でまとめている。 [書](紹介文)

二つのせつめいのちがいをくらべて、お気に入りの文章をしようかしよう。

#### 5 本時の学習(4/8)

- (1) 目標 2つの文章を読み比べ、違うところとその理由を考えることができる。
- (2) 準備 教師：拡大した2つの文章、カラーペン、教科書の簡条書きの短冊
- (3) 学習過程

学習活動	指導・支援(○)[焦・視・共・他]と評価※
1 本時の学習のめあてを確認する。	
2つの文しょうのちがいをを見つけ、ちがっているわけを考えよう。	
2 本に載っていた文章を音読する。	○カードに書かれていた文章と違うところを探しながら読ませる。
3 2つの文章の違いを考える。 ○カード ・文が短い。 ・簡単に書いていて、分かりやすい。	○「違い」に着目させることで、考えやすくする。[焦] ○カードと本の文章が比較しやすいように児童には、コピーを配布し手元に並べ、

<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みやすい。</li> <li>・文のはじめに「○」がつけてある。</li> <li>・主語がない。</li> <li>・題名が短い。</li> <li>・場所や読む人(相手)が違う。デパートのお客さん。</li> </ul> <p>○本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文が長い、文の数が多い。</li> <li>・くわしく書いてあってよく分かる。</li> <li>・一マス下げて書いてある。</li> <li>・主語がある。</li> <li>・「さらに」「また」などつなぐ言葉が入っている。</li> <li>・題名がおもしろい。</li> <li>・くわしく知りたい人が読んでいる。</li> </ul> <p>4 カードの文章と本の文章では、なぜ違いがあるのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「デパートのふろしき売り場」で買い物に来た人にすぐ読めた方がいいから、短い言葉で分かりやすく書いてある。</li> <li>・お客さんに、ふろしきの良さをすぐ分かってもらうため。</li> <li>・本は調べるときに読むから、詳しく説明するために長い文章で書いてある。</li> <li>・詳しく知りたい人が読むので、長い文章で説明している。</li> </ul> <p>5 学習の振り返りをする</p>	<p>見比べることができるようにする。[視]</p> <p>○気づいた違いを次々言わせ、できるだけ多くの違いがでるようにする。[共]</p> <p>○出てきた違いを、項目ごとに分け、整理してまとめる。[視]</p> <p>○2つの文章を拡大したものをパネルに掲示する。[視]</p> <p>○同じところがあることに気づいた時は、気づいたことを認め、箇条書きカードを移動して、次時により深く学習することを伝えておく。</p> <p>○文章の長さ、表現方法(○と1字下がり)題名の違いの3点に絞って理由を考えさせることで、場面や用途によって違いが出ていることに気づかせる。[焦]</p> <p>○ノートに自分の考えを整理し、ペア学習で友達と共有する。[共]</p> <p>○考えられない児童にはそれぞれの文章がどのような場面で用いられているかを考えるよう伝える。[焦]</p> <p>※2つの文章の違いを捉え、場面や用途によって書き方が違うことに気づいている。(ノート・発言)</p> <p>○違うところはどこか、なぜ違いがあるのかを振り返りにまとめさせる。</p>
--	---